

平成 21 年度 教育研究助成申請書

財団法人 福武教育文化振興財団
理事長 福武 總一郎 様

《以下、年号は和暦でお願いいたします》

申請日：H 2 1 年 1 月 1 5 日

申請代表者氏名	いし はら し の ぶ		
	石 原 忍 ㊟		
申請者連絡先	〒701-1214	tel	086-284-4272
	岡山市辛川市場321-1	携帯電話	090-7378-0560
		fax	086-284-4273
		E-mail	shinobu@mopera.net

〔注〕複写をとる関係上、パソコンまたは黒ボールペンにて明瞭に記載してください。

申請種別 (該当に○をつけて下さい)	個人・団体 グループ・学校園 【団体名： _____】				
申請分野 (番号に○をつけて下さい)	1. 学力・人間力の育成 { 教育課程や教材の研究開発、各教科・道徳・特別活動並びに総合的な学習指導法の改善、教師力・特別支援教育に係る研究等 } 2. コミュニケーション力の育成 (国際理解教育・小学校英語・情報教育等の推進、IT機器の活用、図書館の利用、NIE活動等) 3. 学校・家庭・地域教育力の育成 (学校づくり、学校経営、家庭・地域の教育力の育成)				
研究主題	ダウン症児への早期個別支援に関する実践的研究 ー応用行動分析の手法を生かしてー	助成希望額	20 万円 <small>※学校園全体の研究は上限50万円、その他は上限20万円</small>		
キーセンテンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダウン症児への早期支援 ・ 応用行動分析 ・ 個別支援と集団での育ち 				
助成金の使途					
費目	金額(万円)	主な内容	費目	金額(万円)	主な内容
備品費			通信運搬費		
図書資料費	5	・ 研究用図書 ・ 幼児教育図書	印刷複写費	3	・ プリンターインク ・ 各種用紙
人件費			消耗品費	7	・ 幼児教育関連教材
旅費	5	・ 学会、研究会参加	雑費		
謝金			その他		
会議費			合計	20	←合計額は助成希望額と同額

捺印漏れ、記入漏れの無いよう、ご確認下さい。

研究のねらいと研究の方法や期待する成果の概要				
○ 研究のねらい				
ダウン症児に対して、応用行動分析の手法を生かした早期支援を実施し、その実践記録を分析・整理することにより、その有効性と望ましい方法を明らかにする。				
○ 研究の方法				
週1度（45分）程度の個別支援を定期的実施し、その内容を言語および映像で記録する。集約されたデータを質的に分析・整理し、その有効性と望ましい方法を明らかにする。				
○ 期待する効果				
実践を通して望ましい個別支援のあり方が明らかになることにより、個の支援と集団での育ちという、今日の特別支援保育のあるべき姿の方向性を示すことができるのではないかと期待している。				
申請理由				
近年、応用行動分析の手法が、特別支援保育の対象となる子どもへの有効な方法の一つとして注目されている。しかし、そのための費用や研究の機会、あるいは臨床的・実践的な研究の積み重ねは十分であるとは言えない。今回の研究の内容は、貴財団の研究助成の目的に添うものであり、岡山の保育・教育振興の一助となるものと考えている。				
主な構成メンバー ＜団体のみ記入＞				
氏名		所属・役職		氏名
				総人数
				名
年間計画の概要	年月	活動・研究の内容		年月
	H21、4	研究目的・方法の確認		
		個別支援の実施 実践の記録		
	H22、1	実践記録の集約		
	H22、2	実践記録の分析・整理		
	H22、3	研究成果のまとめ		
当財団および他の機関からの表彰・助成歴		平成 年 月：	万円	機関名（ ）
		平成 年 月：	万円	機関名（ ）
		平成 年 月：	万円	機関名（ ）
所属長の推薦				
上記の者を貴財団への助成対象者として推薦します。				
平成 21年 1月 15日 所属長 職名 白ゆり保育園 園長				職印
氏名 石原仁美				

※申請書のご記入内容は、当財団の助成にかかわる事業のみに使用します。